

16

プラスチックを「ごみ」から「資源」に！ 廃プラスチックの分別収集・ 再資源化のモデル実施

予算額(新規)

98,052千円

問合せ

すみだ清掃事務所長

高村 弘晃

電話 5608-6922

1 目的

廃プラスチックを、「ごみ」として処理せず、「資源物」として有効利用することで、プラスチックの資源循環をさらに促進し、ごみの減量化と循環型社会の実現をめざす。

2 主な事業内容

廃プラスチックの分別収集・再資源化のモデル実施
【98,052千円】(新規)

小規模地域を対象に、分別収集・再資源化のモデル実施を行い、令和6年度中の本格実施を見据えた収集体制の構築と普及啓発活動を行う。

- ・期間 令和5年10月～
- ・対象 約30,000世帯(約5,000世帯×6地区)
- ・方法 新たな回収曜日(プラスチックの日)を設定し、週1回、プラスチックを回収する。

【ここがポイント！】

区民生活の中で“よく目にする”集積所看板を一新！
新たなデザインは「千葉大学スタートアップ共同事業」として、大学の知見を取り入れながら作成する。

※区内約9,000箇所を設置

※令和5年度にデザイン作成、令和6年度に看板入替作業

3 事業イメージ・その他

廃プラスチックの影響で

気候変動

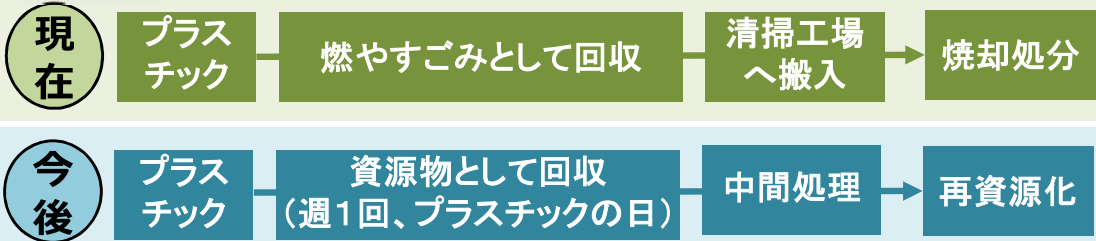
海洋汚染

など様々な問題が発生

廃プラスチックを資源物として回収
環境にやさしい持続可能な“すみだ”の実現へ



墨田区は、2021年に「SDGs未来都市」に選定されたとともに、「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を行いました。



資源物 **プラスチック**

令和5年10月～モデル実施

令和6年度 本格実施

プラスチック製容器包装



製品プラスチック



「資源物」として回収

主なSDGs目標

